

## 平成30年度 久留米市文化財収蔵資料審議会 会議録

### 開催要領

1. 開催日時：平成30年12月14日（金） 14時00分～15時15分
2. 会場：えーるピア久留米 207学習室
3. 出席委員：大津忠彦委員、吉留優子委員、吉田洋一委員、吉永陽三委員、  
後藤純子委員、江藤彰彦委員、植野かおり委員
4. 事務局：市民文化部 宮原部長、文化財保護課 水島課長、白木課長補  
佐、丸林課長補佐、岡崎主査、江島、神保、穴井、廣木
5. 傍聴者：なし

### 議事次第

1. 開会のことば
2. 部長挨拶
3. 議題審議
  - (1) 文化財収蔵資料の購入について（諮問）
  - (2) 平成31年度以降の資料購入について
4. 報告
  - (1) 平成29・30年度資料の収集について
  - (2) 平成29・30年度資料の補修について
  - (3) 平成31年以降の資料補修について
5. その他
  - (1) 資料の活用状況について
6. 閉会のことば

## 議事録

### 1. 開会のことば

- 事務局より新任職員の紹介
- 事務局より会議成立報告

### 2. 部長挨拶

- 宮原部長より挨拶

### 3. 議題審議

(1) 文化財収蔵資料の購入について（諮問）

(2) 平成31年度以降の資料購入について

- 事務局より説明

- 質疑

(委員) (久留米藩参政不破美作書状は) 幕末期の資料としては高いのではないか。以前、該期の資料を大学で購入したが、30万円で400点程度であった。他の資料は妥当な価格だと思う。

(事務局) 高価格であることは市も認識している。購入の際には、委員に意見書を頂き、価格交渉を行う。

(委員A) (資料①豪商手津屋正助宛売仕切覚) 購入の目的は何か。価格が高く、資料として使いづらい。また資料数も少ない。

(資料②筑後国三潯郡坂井村文書) は、傷は多いが、資料として貴重。取留めて頂きたい。

(委員B) (資料②は) 絵図もあり購入は有益であるが、資料数200点の内容(内訳)の確認も必要である。

(事務局) 資料①は久留米市関連の資料をリストアップしたもので、すべてを購入するというわけではない。

資料②予算を確保できたら、資料の調査、内容を確認した上で、改めて委員の皆さんに意見を頂きたい。

#### 4. 報告

(1) 平成 29・30 年度資料の収集について

(2) 平成 29・30 年度資料の補修について

(3) 平成 31 年以降の資料補修について

○事務局より説明

○質疑

(委員) 平川良栄関連笠原家資料について、寄贈を受けたのは器物類だけか。

文書、典籍類はないのか。

(事務局) 笠原家伝来の文書等はない。但し、親戚にあたる岡谷家の文書は寄贈を受け、現在整理中である。後日、改めて報告する。

#### 5. その他

(1) 資料の活用状況について

○事務局より説明

○質疑

(委員) 「むかしのくらし展」の受け入れ態勢と、広報活動について、団体の交通手段も含めて知りたい。

(事務局) クラス数や児童数にもよるが、職員とパートで 3～6 名程度で対応。近隣の学校は徒歩、小規模校の場合は路線バスや、市のマイクロバスを利用して来館。

(委員) 有馬記念館の事業は審議会とは関係がないのかも知れないが、甲冑など重要な資料のほか、修復が必要な資料も多くあり、事業内容等について本審議会でも情報共有できないか。

(事務局) 事業報告等については、公財の理事会・評議委員会での報告に留めているが、今後は参考として報告したい。また修復が必要な資料については篠山神社や有馬家にも協力頂き、公財で予算化し少しずつ対応している。

(委員) 平成 29 年度寄贈の内田和幸家資料について、北九州市若松区高塔山の山頂に爆弾三勇士の記念碑があるので参考にしてほしい。

(事務局) 参考にさせていただく。

(委員) 陸上自衛隊久留米駐屯地内の資料は、所有者が自衛隊ということも

あり難しいかもしれないが、貴重な資料も多くあるため、周知・活用のため、自衛隊に働きかけてほしい。

(委員) 小野川才助の化粧まわしについて、展示の際には、痛みが激しいため、復元図(イラスト)を作成し、わかりやすい展示が必要ではないか。

(事務局) 今回の展示ではイラストを準備していないが、善導寺コミュニティセンターには復元図がある。今後は、資料をイメージし易い展示を工夫していく。

(委員) 「むかしのくらし展」で、太宰府市では古写真の悉皆調査を実施しているが、久留米市ではどのように対応しているのか。

(事務局) 悉皆調査は行っていない。40年前、市制90周年にあわせて「目で見える久留米の歴史」を作成した際、当時の広報で募集をしたことはある。現在は「収蔵館ニュース」で、寄贈者等配布先は限られるが、必要資料の呼びかけを実施している。

(委員) 「むかしのくらし展」の体験コーナーは、具体的にどのような体験をしているのか。

(事務局) 以前は、収蔵館の横で石臼挽きによるきな粉作りをやっていたが、現在は、商業施設ということもあり、スペースが限られているため、秤の体験や、蚊帳に入るなどの体験に留まる。この他、出前講座で火起こしや石臼挽きの体験を行っている。

(委員) 現在、民俗資料は地域回想法の観点からも福祉施設等での活用事例も多いが、久留米市ではどのように対応しているのか。

(事務局) 「むかしのくらし展」では、小学校に加え、グループホームにも案内を出しており、年間、何件かのホームに利用いただいている。

## 6. 閉会のことば

○水島課長より、閉会のあいさつ

\*審議会終了後、文化財収蔵館にて収蔵資料の見学。